診断テスト［A］

中2／つまずきを 見つける 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・次の20問を解いて、答えを □ に書く。計算は別の紙でする。わからなければとばす。
・確率は 約分した 分数で 書く。場合の数は 数だけ 書く（「通り」は 書かない）。
・①②は 正しい 答えを ○ でかこむ。
・さいころは 大・小を、硬貨・くじ・玉・カードは 1つ1つを 区別した どれも 同じ 出やすさと する。

① さいころ1個で 1の目が 出る 確率は $\frac{1}{6}$ です。
6回 投げたとき、正しいのは どちら？

必ず 1回 出る　　出ない ことも ある

② 当たり 3本・はずれ 7本の くじを
1本 引く。当たる 確率は どれ？

$\frac{3}{10}$　　$\frac{3}{7}$　　$\frac{1}{2}$

③ 1, 2, 3の カード3枚から
2枚を ならべて 2けたの
整数を つくる。何通り？

④ 0, 1, 2, 3の カード4枚
から 3枚を ならべて
3けたの 整数を つくる。
何通り？

⑤ A, B, C, Dの 4人から
代表2人を えらぶ。
えらび方は 何通り？

⑥ A, B, C, Dの 4人から
委員長と 副委員長を
1人ずつ えらぶ。
えらび方は 何通り？

⑦ さいころ1個を 投げる。
3の倍数の目が 出る 確率

⑧ 1〜30の カード30枚から
1枚ひく。4の倍数でも あり
6の倍数でも ある カードが
出る 確率

⑨ 赤玉3個、白玉5個の 入った
袋から 玉を 1個 取り出す。
赤玉が 出る 確率

⑩ 10円・50円・100円の 硬貨を
1枚ずつ 同時に 投げる。
表が出た 硬貨の 合計が
60円以上に なる 確率

⑪ 大小2個の さいころを 投げる。
目の和が 7に なる 確率

⑫ 大小2個の さいころを 投げる。
目の積が 奇数に なる 確率

⑬ 大小2個の さいころを 投げる。
大の目が 小の目の 約数に
なる 確率

⑭ 5本中 2本が 当たりの くじを
A, Bの順に 1本ずつ 引く。
引いたくじは もどさない。
2人とも 当たる 確率

⑮ 5本中 2本が 当たりの くじを
A, Bの順に 1本ずつ 引く。
引いたくじは もとに もどす。
2人とも 当たる 確率

⑯ 5本中 2本が 当たりの くじを
A, Bの順に 1本ずつ 引く
（もどさない）。
Bが 当たる 確率

⑰ 赤玉2個、白玉3個の 袋から
玉を 同時に 2個 取り出す。
2個とも 赤玉の 確率

⑱ 大小2個の さいころを 投げる。
同じ目が 出ない 確率

⑲ 赤玉2個、白玉3個の 袋から
玉を 同時に 2個 取り出す。
少なくとも 1個は 赤玉の
確率

⑳ 大小2個の さいころを 投げる。
少なくとも 1個は 6の目が
出る 確率

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

診断テスト［A］【こたえ】

中2／つまずきを 見つける 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	×のときの誤答	つまずき	やるところ（記事の小単元）
①	出ない ことも ある	必ず 1回 出る	「6回に1回必ず」と読む	①確率の意味
②	$\frac{3}{10}$	$\frac{3}{7}$ ／ $\frac{1}{2}$	当たり・はずれの2通り	②同様に確からしい
③	6	9	同じカードを2回使う	③並べてできる数
④	18	24	先頭の0	③並べてできる数
⑤	6	12	選ぶのに順番を区別	④並べ方と選び方
⑥	12	6	役割の 順番を 区別しない	④並べ方と選び方
⑦	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{6}$	倍数の数え漏れ	⑤条件に合う数を数える
⑧	$\frac{1}{15}$	$\frac{2}{5}$	「でも」を「または」と読む	⑤条件に合う数を数える
⑨	$\frac{3}{8}$	$\frac{3}{5}$	分母に 他方の個数を 置く	⑥分母は全部の数
⑩	$\frac{5}{8}$	$\frac{1}{2}$	ちょうどを 数え落とす	⑦硬貨
⑪	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{11}$	和の種類(11通り)で 数える	⑧さいころ2個の表
⑫	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{2}$	積の偶奇を半々	⑨さいころ2個の条件
⑬	$\frac{7}{18}$	$\frac{2}{9}$	同じ目の 組を 落とす	⑨さいころ2個の条件
⑭	$\frac{1}{10}$	$\frac{4}{25}$	戻さないのに 減らさない	⑩くじ（戻す・戻さない）
⑮	$\frac{4}{25}$	$\frac{1}{10}$	戻すのに 減らす	⑩くじ（戻す・戻さない）
⑯	$\frac{2}{5}$	$\frac{1}{4}$	後に引くと不利	⑪くじの順番と「1本だけ」
⑰	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{20}$	分母と分子で 数え方が ちがう	⑫玉を同時に2個
⑱	$\frac{5}{6}$	$\frac{1}{6}$	1から引き忘れ	⑬起こらない確率
⑲	$\frac{7}{10}$	$\frac{9}{10}$	反対の 事柄を とりちがえる	⑭少なくとも
⑳	$\frac{11}{36}$	$\frac{1}{3}$	確率のたし算	⑭少なくとも

×が ついた 問を 小単元ごとに 数える。×が 多い 小単元から、同じ数なら 上の 行から やる

①確率の意味	①	×（　）／1	**⑧さいころ2個の表**	⑪	×（　）／1
②同様に確からしい	②	×（　）／1	**⑨さいころ2個の条件**	⑫⑬	×（　）／2
③並べてできる数	③④	×（　）／2	**⑩くじ（戻す・戻さない）**	⑭⑮	×（　）／2
④並べ方と選び方	⑤⑥	×（　）／2	**⑪くじの順番と「1本だけ」**	⑯	×（　）／1
⑤条件に合う数を数える	⑦⑧	×（　）／2	**⑫玉を同時に2個**	⑰	×（　）／1
⑥分母は全部の数	⑨	×（　）／1	**⑬起こらない確率**	⑱	×（　）／1
⑦硬貨	⑩	×（　）／1	**⑭少なくとも**	⑲⑳	×（　）／2

①は 確率 1/6 は 多数回くり返したときの 割合で、6回で 必ず1回では ない。②は 当たり・はずれの 2通りでも 起こりやすさは 同じでない（3/10）。

③は 十の位 3通り×一の位 2通り＝6。④は 百の位に 0 は 置けない 3×3×2＝18。⑤は 組を 区別しない 12÷2＝6。⑥は 役が ちがうので 12。

⑦は 3の倍数は 3と6の 2つで 2/6＝1/3。⑧は 12の倍数が 12と24の 2つで 2/30＝1/15。⑨は 全部で 8個 だから 分母は 8（3:5 ではない）。

⑩は 全部で 2×2×2＝8通り。100円が 表なら 4通り、100円が 裏で 50円と 10円が 表なら 1通りで 5/8。⑪は 6/36＝1/6、⑫は 9/36＝1/4、⑬は 14/36＝7/18。

⑭は 5×4＝20通りの うち 2×1＝2通りで 1/10。⑮は 5×5＝25通りの うち 2×2＝4通りで 4/25。⑯は Aと同じ 2/5。⑰は 10通りの うち 赤赤は 1通りで 1/10。

⑱は 同じ目が 6通りだから 1−6/36＝5/6。⑲は 反対の 事柄「2個とも 白」(3通り)から 1−3/10＝7/10。⑳は 6が 出ない 25通りから 1−25/36＝11/36。

丸つけ　確率は 約分した 分数が ○（2/12 は ×）。0.5 や 50% の 形は ×。①②は ○を つけた 方で 見る。「通り」を 書いても ○。

声かけの 例　数え方 →「並べる？ 選ぶだけ？」　確率 →「全部で 何通り？ どれも 同じ 起こりやすさ？」　少なくとも →「反対の 事柄は なに？」

いちごドリル プリント